

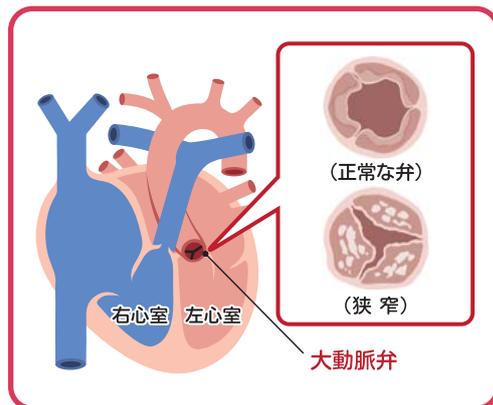
切らずに治す新しい弁膜症治療

循環器内科 飯田 修

だいでうみやくべんきょうさくしやう

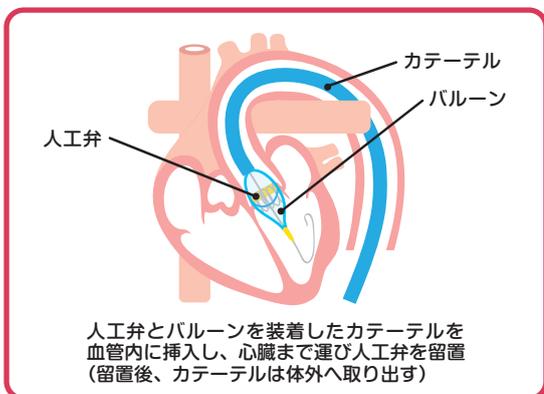
大動脈弁狭窄症とは？

心臓の大動脈弁が石灰化等により開きにくくなることで、心臓のポンプ機能が落ち、運動時の息切れや胸部の不快感、失神などの症状を引き起こし、症状が進行すると心不全が悪化して死に至ることもあります。この大動脈弁狭窄症は、加齢によって引き起こされる疾患であり、高齢化社会の日本において増加傾向にあります。本疾患の日本における罹患率は、60-74歳で2.8%、75歳以上で13.1%との報告があり、60歳以上で約284万人、そのうち手術が必要とされる重度の患者さんは、おおよそ56万人と推計されております。しかしながら、2014年の日本の手術件数は、外科及びカテーテル治療を含めて1.4万件とまったく充足しておらず、未診断や適切なタイミングでの治療を受けられていない患者さんが多くおられる可能性があります。心臓の雑音を調べる検査と心エコー検査といった痛くない検査でこの疾患を調べることが可能ですので、疑わしきは受診をご検討ください。



(大動脈弁狭窄症)

切らずに治す新しい治療 -TAVI (タビ) -



(TAVI)

大動脈弁狭窄症である弁膜症は外科的疾患、つまり症状が出現すれば手術で開胸し、新しい弁に取り換える弁置換術が主流でした。しかしながら、高齢の患者さんにおいては、開胸による手術では体への負担が大きいことから、手術が成功しても術後に日常生活レベルが落ちてしまうこともありました。そのような背景から、胸を開かず、心臓も止めずにカテーテルを併用して患者さんの心臓に人工弁を留置する治療が確立されました。この治療法では、体への負担が極めて少ないため、入院期間が非常に短い（当院では約1週間程度）ことも特徴です。



当院のTAVIの特徴

当院では、心臓血管外科と協力して、循環器内科が中心となって治療にあたっています。当院の循環器内科は、1年間に、冠動脈カテーテル治療を約800件、末梢血管カテーテル治療を約900件、大動脈瘤に対するステントグラフト治療を約80件行っており、その十分な臨床経験のもとにTAVIが施行されます。また、当院は大阪大学の循環器内科・心臓血管外科とも連携し、必要に応じて手術応援を行い、患者さんに適した治療を受けていただけるように日々努めております。大動脈弁狭窄症について気になることがありましたら、循環器内科もしくは心臓血管外科の専門医にご相談ください。

関西ろうさい病院の理念

●● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ●●

病院運営の基本方針

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、高度急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者さんの権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実にも励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。

イメージキャラクター
かんるっこ

さぶりめんと

2019-Jun

No.49

口腔がん、舌がんについて

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 赤埴 詩朗

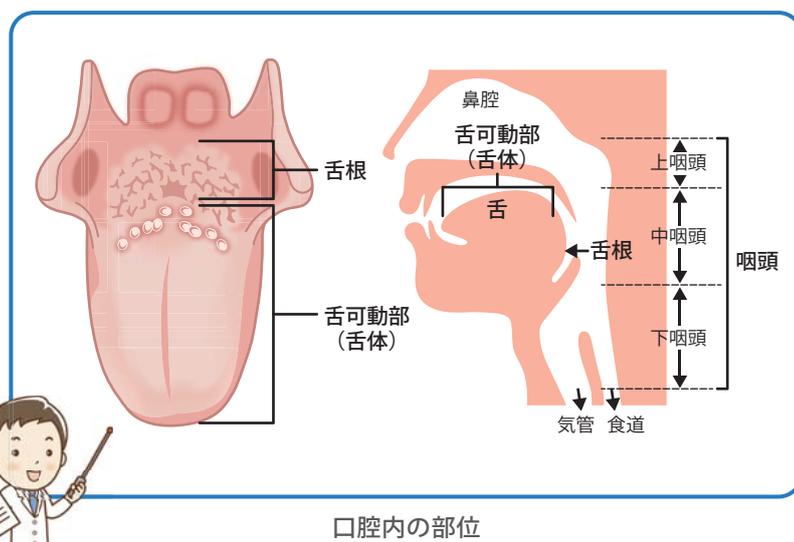
今回のさぶりめんとでは最近マスコミを賑わす口腔がん、中でも舌がんについてお話ししたいと思います。

口腔とは？

口唇(くちびる)、頬粘膜(ほっぺた)、上下の歯肉(はぐき)、硬口蓋(こうこうがい)(上あごの硬い所)、口腔底(舌の下面)と舌(前方3分の2)などから成ります。

口腔がんの頻度

口腔がんは舌、歯肉、硬口蓋や頬粘膜にでき、中でも舌がんの頻度が一番高く、日本では年間約4,000人が舌がんと診断されます。舌の付け根(舌の後方3分の1の部分)は医学的には中咽頭という部位に属しますので、ここから発生したがんは中咽頭がんと呼ばれます(右図)。



口腔内の部位

舌がんの好発部位

舌がんは舌上面の表面にできることはまれで、左右の舌の淵にできることが多いです。白板症(はくばんししょう)(こすっても取れない白い苔)、赤板症(せきばんししょう)(赤い粘膜の斑点で普通は炎症を伴わない)(左写真)などは放っておくと将来がんになる可能性のある病変です。

舌がんの原因と病期(ステージ)

タバコとアルコールの関与が示唆されています。とくにタバコは口腔内の衛生状態を悪くし、舌がんを引き起こす最大の原因とされています。扁桃腺から発生した中咽頭がんはウイルスが関与していることがありますが、舌がんではその頻度は低いです。最大径が4cm、深さが1cmを超えるもの、また頸部リンパ節転移があればステージⅢ以上の進行がんになります。

舌がんの治療

主な治療は手術治療で、頸部リンパ節転移があればそれも取り除きます。手術で切除した細胞を詳しく調べ、取り残しの可能性がある場合は、追加切除をしたり放射線治療を行います。



白板症



赤板症



舌がん

舌はご自身で触ったり、鏡を通して観察できる臓器です。普通は2週間ほどで良くなる口内炎が1か月以上治らない場合や、舌が一部硬くなったりしている場合は、たとえ痛みがなくても舌がんの可能性があるので、専門医の診察を受けられることをお勧めします。